

令和7年度第2回鹿児島市国民健康保険運営協議会 会議概要

【日 時】 令和8年1月26日（月） 13：30～14：30

【場 所】 本館2階 講堂

【出席委員】

被保険者を代表する委員 猿渡一義、藤崎国子、三反田千代子、梶原祐一郎
保険医・保険薬剤師を代表する委員 池田耕治、大勝秀樹、上稲葉隆、高竿寛実、谷口欣平
公益を代表する委員 岡本康裕、山下利恵子、徳重里香、元村美起子
被用者保険を代表する委員 有村耕治、神宮司浩章、蔵前秀昭

（事務局出席） 市民局長、市民文化部長、国民健康保険課長 他8名

【会 次 第】

- 1 開会
- 2 副市長あいさつ
- 3 議事
 - (1)会議録署名委員の選出
 - (2)諮問事項
 - 議案1 令和8年度国民健康保険税の税率
 - 議案2 令和8年度国民健康保険税の課税限度額
 - (3)答申
 - (4)報告
 - 高額療養費制度の見直し
 - (5)その他
- 4 閉会

【議事概要】

3 議事

(1) 会議録署名委員の選出

(署名委員) 谷口委員、山下委員

(2) 諮問事項

議案1 令和8年度国民健康保険税の税率

委員：資料1のP4「モデル世帯における国保税の試算（年額）」で、R7税率からR8税率（案）の増減額のうち、子ども・子育て支援制度開始に伴う影響額は。

事務局：給与所得が200万円で、40代夫婦・中学生1人・小学生1人の世帯の場合、26,700円増のうち子ども・子育て分は7,200円。
年金所得100万円で、65歳以上の夫婦の場合、10,200円増のうち子ども・子育て分は3,300円。

委員：参考資料1のP2「子ども・子育て支援金に関する試算」で一人当たり平均月額が年々増加している理由は。

事務局：国において、子ども・子育て支援制度が段階的に始まり、必要なお金が年々増加していくため。

委員：資料1のP3「本市税率（案）」で、R7税率からR8税率（案）の増減額のうち、介護納付金課税額の所得割額と平等割額だけ減少している理由は。

事務局：国が試算する係数の変動と、被保険者数の減少が影響している。

議案2 令和8年度国民健康保険税の課税限度額

委員：資料4で後期高齢者支援金等課税額と介護納付金課税額の課税限度額が据置となった理由は。

事務局：国で課税限度額の対象となる世帯割合の基準を定めており、限度額を超える世帯割合を全体の1.5%としている。後期高齢者支援金等課税額と介護納付金課税額は基準を下回っていたため、据置となった。
基礎課税額については、課税限度額の対象となる世帯割合が1.75%と、基準を超えていたため引き上げとなった。

(3) 答申

特になし（原案どおり承認）

(4) 報告（高額療養費制度の見直し）

特になし

(5) その他（国保制度全般について）

- 委員：令和7年度の税率引き上げに伴い、税額が大幅に上昇したと思うが、被保険者から不満等の声はあったか。
- 事務局：6月発送の納税通知書に税率改定についての案内を新たに同封したほか、市民のひろば等で周知も行った。また、窓口も増設した。不満等の声もあったが、大きなトラブルは無かった。
- 委員：税率改定に伴う影響は。
- 事務局：税額が増加するため、国民健康保険税の収納率は昨年よりも1%程度低く見込んでいたが、現時点で、見込みのとおり。
- 委員：令和7年度の最終的な収納率はいつ頃分かるか。
- 事務局：来年度の第1回運営協議会でお示しできる。
- 委員：子ども・子育て支援金制度も開始予定で、大変厳しい財政状況だと思うが、現在、多額の法定外繰入金に頼り、国保加入者以外の方々にも負担いただいている状況であるため、できるだけ早く法定外繰入金を解消していただきたい。また、累積赤字削減のために、医療費の抑制に力をいれていただきたい。
- 現在、国会で「国保逃れ」が話題となっているが、対象者の把握をしているか。
- 事務局：法定外繰入金は、税率改定を実施し10年度までの解消を目指しているが、累積赤字の解消は厳しいため、今後も引き続き、収納率向上・医療費抑制の取組を強化していきたい。
- 「国保逃れ」については、把握できていない状況。